

多言語対応表示・標識等に関する調査 ～青梅市御岳山・天空芸者宴を例に～



青梅市教育委員会社会教育課
若林 裕香

①御岳山地区と天空芸者宴とは

みたけさん
御岳山地区の特徴

- ①武蔵御嶽神社とその御師（おんし）の宿坊が軒を連ねる地域。山岳信仰の霊山として発達。
- ②近年、山裾の御岳地域のリバーアクティビティ、登山ブームとともに外国人観光客も増加している。



てんくうげいしゃないと
天空芸者宴とは

- ①御岳山商店組合が主催し、標高929mの御岳山で外国人観光客をターゲットにお座敷遊びを楽しんでもらうイベントとして2014年から実施。
- ②2年間で約160人の外国人観光客を受け入れている。



課題

御岳山で始まった外国人をターゲットにした天空芸者宴の事業だが、今後より多くの外国人が来やすい工夫はどのようにすればよいのか。どんなニーズがあるのか収集したい。



調査概要

2015年11月27日(金)午後0時50分～6時30分実施
御岳山地域および、御岳山で行われている天空芸者宴についての多言語対応状況について調査を実施。

【調査1】御岳山地区の観光パンフレットと天空芸者宴のチラシを調査を行う留学生に渡し、最寄の御岳駅から自力で天空芸者宴の会場まで行くことができるか、道中の標識や案内所、パンフレット等の多言語状況を調査。

【調査2】天空芸者宴に実際に参加し、その内容や多言語対応状況を調査。

【調査1】会場までのルート調査

＜6人の留学生を2チームに分けて実施＞

Aチーム：天空芸者宴のチラシを渡し、自力で天空芸者宴会場へたどり着く

⇒天空芸者宴のチラシは英語表記あり。ルートは英文で書いてあるが、バスやケーブルの乗り場、地図は記載がない。

Bチーム：御岳山観光マップを渡し、自力で天空芸者宴会場へたどり着く

⇒御岳山観光マップは日本語表記。天空芸者宴の記載もない。地図やイラストなどの記載がある。



【調査2】 天空芸者宴の内容調査

実際に天空芸者宴に参加し、その内容が分かったか、会場内のトイレの場所や自分の座席が分かったか等を調査。



調査結果と気づき

- ・日本人(主催者側や市)では気づかない視点の発掘に繋がる。
⇒「イベントの中身が外国人にとって分かりやすいか」だけではなく、イベントまでの道のりを含めて観光であるということ。
⇒知りたい情報へのアクセスのしやすさも必要。



今回の調査結果を主催側に伝えるということだけではなく、「今後どのように活かしていくのか。」が重要

- ・学生と地域、相互にとって学び合うことを視点に加えることが大切
- ・多言語対応の区切れはない。